

平成 30 年度「土砂災害防止に関する絵画・作文」作文小学生の部 優秀賞(事務次官賞)

「土砂災害について思う事」

三重県 松阪市立伊勢寺小学校 6年 松本 陽葉

私は、扇状地と呼ばれる地形の所に住んでいます。山と山の間に川が流れていて、その川沿いに新緑や紅葉のきれいな、有名なお寺の庭園があります。

新緑のころ、家族でドライブに行ったときにそのお寺の庭園を見に行ったら、なんと土砂崩れにあって壊れていました。すごく残念です。去年の10月に上陸した大型台風の影響で、こうなってしまったのですが、学区内でこんなにひどく土砂崩れをしているところがあったのに、それを知らなかったのも、とてもびっくりしました。

土砂崩れで、大きな木が川に倒れこんでいて、未だに足をふみ入れたら崩れてしまいそうな地面は、見ているだけで、とても痛々しく感じました。台風がとても強くて、学校が休みになるからうれしいな、なんて思っていた私は、考えを改めていかないといけないことが分かりました。

最近、テレビやインターネット、新聞などのメディアで、災害のニュースを目にすることがあります。そのような災害は、もっと遠くで起こるニュースであって、自分にはあまり関係がないと思っていましたが、実際に現場を見てみると、元にもどすのはとても難しい、すごく大変なことになっているのだということが分かりました。

日本は、火山列島でよく地震が起こるし、台風も上陸するし、自然環境は破壊されつつあるので、危険を回避する方法や、防災訓練、逃げるための準備、助かるための知識などが必要だということを、しっかり覚えておこうと思います。

そのために、私は自宅では非常時持ち出し用のリュックサックを用意して、その中に必要な物を入れて、いつもいる部屋のすみに準備しておきました。

学校で行われている防災訓練も、今まで以上にしっかりと取りくみたいと思います。

人は、一人では大変なことがたくさんあるので、まわりの人たちと助け合い、支えあって生きていくことが、とても大切だと思います。それによって、助けてもらえたり、助けたりすることがあると思うからです。私はまだ子どもなので、助けてもらう方が多くなると思います。しかし、人に迷惑をかけないように、自分のことは自分でちゃんとして、そして、周りにも目を配ることができるくらいになりたいです。

県や市がインターネットのホームページに防災マップ、土砂災害ハザードマップを出してくれています。私はそのページを見て、もし災害があったらどこに逃げたらいいのか、どうしたらいいのかをチェックしました。

この世界中では、いつどこで何が起こるか分かりません。そんな地球に住んでいる私たちは、自然災害にいつまきこまれるか分からないので、自分の命は自分で守るという意識が大切だと思います。大切な命は、一人一人の思いで助かるかもしれないのです。これからは、自然災害による危険をもっとくわしく知り、自分たちの大切な命がむだにならないよう、より意識を高めていかなければいけないと思います。